社說

運輸交通機關の不始末は當局者の責任なり

運輸交通の不始末は我邦の屢々論じたる所なれども遂に著しき改良を見ざりしに今や其當局者は更代して實に此問題に付我邦に同感を表したる其人が新に任に當りしみどなれば今後必ず見る可きもののあらんなれども此問題重ねて注意を促すも亦自から無益の事に非ざる可し從來此事業の進歩せざるは資本の乏しきに由るの事情もあらんなれども行政の不活潑亦一大原因と云はざるを得ず例へば郵便配達遅れ多く電信に誤字延着少なからざるは配達人又は技手等の給料十分ならずして事に慣れたる者を引留め或は入用だけの人員を雇ふみと能はざるにも因るみとならんなれども鐵道の如き資本餘りありて用ふるに困却するはゆの次第なり例へば二十九年度の現計書を見るに既設鐵道の改良費は四百五十萬圓にして其内實際費したるものは僅に百十六萬餘圓に過ぎず以て當局者の腹前如何を察するに足る可し或は起業の初年度に於ては準備に時日を要するが故に事業自から遲延を免れずとの辯解もあらんかなれども其辯解は聞くに足らず現に去る二十六年度より着手したる鐵道建設事業を見るに仕事は始終後れ勝にして二十七年度には百五十萬圓の豫算中六十六萬圓二十八年度には二百五十萬圓の内、百餘萬圓二十九年度には四百五十萬圓の内二百餘萬圓を使ひ殘して翌年度に繰越したり而して電話の如きも二十九年度の擴張豫算百六十七萬餘圓の内實際費したる金額は僅に五十九萬餘圓に過ぎざるみとなれば少なくとも鐵道電話に付ては錢なきが爲めに擴張改良すると能はずとの申譯は相立たざるのみか郵便電信に付ても經費不足の一言を以て其責を免るゝを得ず運輸交通事業を擧て官の手に收めたる以上は必要に應じて之を擴張又は改良して以て國民に滿足を與ふるは即ち政府の職分にして之が爲めに錢の入用あれば颯々と人民より徵收す可きのみ議會は決して錢を吝むものに非ず當局者の仕打宜しきを失はざれば經費の乏しきを憂へざる其證據は現に鐵道電話に付ても又軍備擴張に付ても當局者が持て餘すほどの費用を與へたるを見ても明白なる可し左れば鐵なきが爲めに不始末を免れずと云ふは恰も會社の役員が無資本なる可き株金を集めずして事業の不振を招き怖して其不振の罪を他に轉せんとするに異ならず株金を集むるは會社員の職務にして入用なる經費を求めて運輸交通の機關を完備するは當局者の責任なり並し官吏輩に於ては左まで苛斂を敢ぜざるみとならんなれども此機關の不整頓の爲めに國民の蒙る可き損害は擧て數ふ可らず無用の貨物が空しく停車場に停滯し大切の郵便が中途に紛失して先方に屆かず一刻千萬金に價する電報が郵便よりも遲くして商機を失するが如きは毎度の沙汰にして其不便不利は到底堪ふ可きに非ず若し一朝國に事あり兵馬を動かすに當り鐵道は物を運ぶに足らざるのみか少しく雨降れば破損して通ぜず電信は大阪より東京へ一日を要し電話は一寸にも足らざる雖の爲めに不通と爲るが如き始末なるに於ては其國難任務果して如何なる可きや想像するだに寒心に堪へず左れば此機關の整備は國民の擧て熱望する所にして過日名古屋の電話交換局に於て加入申込を受理するに當り市民は各々我先きにと事務所へ押掛け中には前日の午後九時頃より馳付けたるものも少からず當日の午前一時頃には早や既に立錐の餘地もなく警察官が頻りに制止したるにも拘はらず此混雜の爲めに數名の昏倒者を生じたりと云ふ此一事に徴しても交通機關擴張の急用を察するに足る可し然るに若しも當局者に於て確乎經費を請求もせずして交通機關の病氣は錢と云ふ微物に乏しが爲めなりと稱して平氣なるが如きみとわらば我輩は其無責任を咎めざるを得ず今日の責は錢の乏しきに在らずして只當局者の心配の足らざるに在るのみ

電報

(時事新報特受ロイアル電報)

○印度叛亂と英國の輿論

倫敦二月一日發

自由黨員は英國政府の印度境界地に對する政策を非難する建白書に對し修正案を起草中なりスタンダード新聞は印度戰地に於ける英兵の行動に對し充分の審理を遂げんみとを要求しデーリー ニュースは八しく戰爭して止まざるに對し抗論を試む

○印度の黑死病

同 上

孟買の黑死病は甚しく蔓延したり

○堂鳩取引所の答申書呈出

大阪二月一日午後特發

堂鳩取引所にて昨夜午後八時主務大臣の命令を厲行する能はずと答申したるが其の答申書の意味は主務省の命令を施行せざるは不都合なれども目下不穩の形跡ありて若し之を厲行せば甚しき弊害を生ずるの恐れあるを以て施行するを得ざれども今後は役員に於て責任を負ふて處理すべしと云ふにあり主務省よりは未だ之に對する命令來らず

(以上三件前號續報)

○堂鳩取引所役員の解職

大阪二月二日午後特發

堂鳩取引所にては本日午前九時府知事より主務大臣の命令を受けたり其命令は取引所法第二十七條に依り理事長並に理事の解職を命ず但二日以内に臨時總會を開き理事の選擧を行ふべしとの事にて同所は其準備に忙がはし

○取引所の外國米代用

熊本二月二日午後特發

當地の米穀取引所にては昨日の四月限より外國米の代用を實行せり

○外國米取引實行

松山二月二日午後特發

當地米穀取引所にては昨日より外國米の取引を實行す

○農工銀行株式募集の結果

神戸二月二日午後特發

本邦農工銀行株式募集の結果滿株となれり

○農工銀行申込株數

神戸二月一日午後特發

本邦農工銀行株式募集の締切期限は昨日迄なりしが今朝迄に各地より申込ありし株數は四萬千四百三十ありたり(豫定株數三萬五千)

○櫻井少將の上京

長崎二月二日午前特發

櫻井少將明日上京の途に就く

○警部長上京

東京二月二日午前特發

笠井本縣警部長は今夕上京の筈なり

○警部長上京

名古屋二月二日午後特發

山田警部長本日上京す

○中學生徒の校長排斥運動

富山二月二日午前特發

本縣中學校生徒中上級のもの一數して校長の排斥運動を始めたり

○囚徒の脫獄未遂

佐賀二月二日午前特發

佐賀監獄署の重懲役囚數名脫獄を企てたりしも中途にて發覺し直に監禁されたり

○金剛艦拔錨

神戸二月一日午後特發

投錨中なりし金剛艦は昨夜清水港へ向け拔錨せり

○東京横濱間の郵便

東京横濱間の郵便は下り九回上り八回なりしが近時郵便物著しく增加し兩地間に往復するもの一日壹萬貳千に近く尚ほ益々其數を加へんとするの狀勢なるに依り本月一日より上下各四便を增し同時に從來の發着時刻を改正し勉めて商工業者の營業時間内に郵便の發受をなすを得せしめんとを期し左記の時刻を以て東京は江戸橋なる本局及び本撓町なる芝口支局分室より横濱は本町なる本局より郵便物の差立をなす筈なれば急を要する郵便物は時刻を計りて前記の三局に差出すべく又到着郵便物を成るべく速に受取らんとする者は東京本局又は横濱本局に於て私書函を借り受け置けば時間を限りて兩地間一日數回の通信をなすを得べく商工業者は勿論其他之に依りて利益を受くるもの少からざるべし若し世間之を利用するもの多く其效効顯著なりと認むるときは當局者は進で毎列車に郵便物を搭載し尚ほ大阪神戸間京都大阪間奈良間等頻繁なる地方にも同樣の利便を與へんとするの見込なりと云ふ

東京本局

	發	着
前一〇	八〇	九〇
前一〇	八五	九五
前一一	二〇	三〇
前一一	二五	三五
後一	二〇	三〇
後一	二五	三五
後二	三〇	四〇
後二	三五	四五
後四	二〇	三〇
後四	二五	三五
後六	〇〇	一〇
後六	〇五	一五

芝口支局(本撓町分室)

	發	着
前一〇	九〇	一〇
前一〇	九五	一五
前一一	二〇	三〇
前一一	二五	三五
後一	〇〇	一〇
後一	〇五	一五
後二	三〇	四〇
後二	三五	四五
後四	二〇	三〇
後四	二五	三五
後六	〇〇	一〇
後六	〇五	一五

横濱本局

	發	着
前一〇	九〇	一〇
前一〇	九五	一五
前一一	二〇	三〇
前一一	二五	三五
後一	〇〇	一〇
後一	〇五	一五
後二	三〇	四〇
後二	三五	四五
後四	二〇	三〇
後四	二五	三五
後六	〇〇	一〇
後六	〇五	一五

又私書函借受人は東京本局に於ては午前七時三十五分横濱本局に於ては同三十八分内外にして郵便物を受取ることを得べく其借受料は東京は一ケ月二十錢横濱は一ケ月一圓乃至二圓五十錢なりと云ふ

○師團長會議

師團長會議は毎年十二月に開會するの例なるも昨年は都合により開會するに至らざりしも本年は新大臣の就任ありしとの爲め勞々並參開會の必要あるに付參來る十四日より開會する筈にて國防の計畫に關する更に各師團長より及び成績を表上し日答するものなりと云ふ

○犯罪

『サア、入らっしゃい』

『イヤ、何うか先ア』

『ナニ先ア君から。』

『何うか、貴方から』

と兩人は、遜讓亭の『ゆ』りけに、互に其先を君から御出でなさいて階子を下る。

意味ありての事とは占め得たるなり。自何事か異樣のものに太と島かり。伴は下り立ちて、巨

佇みたる一人の男あり、婦人の後を蹤けしめはすれば、五百藏は、せ遁きて、四五軒先、異村は、伴に別離を、し、自己も車を命じ、や、兩替屋の軒前に車を呼びて、密に其物の五分も經たず、門邊の板塀を、類に書きたる、招牌の斯各易カンン』と記しあれ五百藏が、はなの擬て は女は、其自らせるに相違なかりし心に點頭き、指を熊雄一件の用向、驚に向けて急ぐ。

異村の後を追ひかけて見て、一先ず伴に